

		環境管理学専攻		専攻選択科目	
環境分子生物学 Environmental Molecular Biology		2年	前期	2単位	選択 講義
		担当者(部屋番号)			
		上田 條二 (5531)			
【 授 業 目 標 】					
<p>環境に関わる諸問題が人間の活動に起因していることを考えると、環境問題は社会科学的アプローチから考える必要性を生じる。しかしながら、そもそも環境破壊が生態系や自然環境の変化に現れていることを考えると、自然科学的アプローチによって、問題のメカニズムを解明し、対応策を導き出すことが要求されてくる。本講義では、毎回、環境の諸問題でも特に環境分子生物学に関わるトピックスを取り上げ、最新の知見を討議しながら、そのメカニズムならびに具体的な対応策を導き出せる能力を養うことを目標とする。</p>					
【 授 業 方 法 】					
<p>毎時間、最近のトピックスを交えた独自の教材を使用する。基本的には、学生の自主性を重んじディスカッションによる講義展開を行う。また、教員の方から各トピックスについての解説・問題提起を行うことによって議論を深める。</p>					
【 授 業 計 画 】					
1 花粉症の現状 2 アトピー性皮膚炎の現状 3 アレルギーの現状 4 化学物質過敏症の現状 5 化学肥料の現状 6 農薬の現状 7 遺伝子組換えダイズの現状 8 遺伝子組換えトウモロコシの現状 9 遺伝子組換え食品の現状 10 家畜抗生物質の現状 11 ビスフェノールAの現状 12 環境ホルモンの現状 13 ES細胞の現状 14 クローン動物の現状 15 クローン人間の現状					
教科書	特に指定しない		評価方法	出席状況、レジュメ、ディスカッション内容を総合的にみて評価する	
参考書	特に指定しない		留意点	特になし	